

# 久原小学校の授業の質は高い

## ハイライト：

- ・久原小学校の授業の質は高い
- ・思考力・判断力・表現力を高める算数的活動
- ・案浦先生の授業では、考えを解釈する姿を
- ・低・高学年部会での授業づくり
- ・授業整理会は、次のように進めます。

## 久原小学校の授業の質は高い

先日、他校の研究発表会に参加させていただく機会がありました。研究教科は、久原小学校と同じ国語と算数でした。どの授業も先生方が努力してある姿が視われ、本校の研究にも参考になる点がありました。

算数の授業では、板書の仕方に特徴がありました。板書の最初に前時の問題を位置付けて、本時の問題との比較をしやすいようにしていました。これは、既習学習を活用していく力を高めていくための支援となります。また、ノート指導も徹底され、どの学級も見開き2ページに、自分の考えを整理しながら表現していく姿が見られました。

しかし、公開授業を参観して感じたことは、「子どもの目は輝いている？」「聴き合い、語り合いの授業になっている？」という見取りでした。

国語の授業も算数の授業も、理論的

には、新学習指導要領の内容に応じたものになっていました。しかし、子どもたちの姿に何か不足しているものを感じました。それは、授業での目の輝き、聴き合い、語り合いでした。

久原小学校では、授業づくりの基盤として「子どもの目の輝き」「聴き合い・語り合い」を常に考えています。先生方の指導の積み重ねにより、このような授業が日常的に行われるようになってきています。学校内で参観し合っていると見過ごしがちですが、久原小学校の授業の質は、着実に高まってきました。

よりよい「子どもの目の輝き」「聴き合い・語り合い」を生み出していくための支援は、多様なものが考えられます。先生方のアイデアを生かしながら、授業づくりをすすめていきましょう。

## 思考力・判断力・表現力を高める算数的活動

「数学的な考え方を高めていくには、どうしたらよいか。」という課題は、先生方に共通しているものです。ここで、思考力・判断力・表現力を高める算数的活動を位置付けた4つの授業を紹介しておきます。

まず1つ目は、観察や試行によって事象を数理的にとらえる授業です。本時の算数的活動に結びつく問題把握の段階に位置付けます。2つ目は、旺盛な算数的な活動がある授業です。操作を通して思考し判断する算数的活動の具体化・活性化がポイントとなります。3つ目は、数学的に表現したり伝え合

ったりする授業です。数学的な表現（絵・図・式・言語等）による考えの筋道や根拠の説明がポイントになります。4つ目は、数理のよさを学び直す連続・発展的な授業です。数理と数理、考えと考えを関係づける交流がポイントです。

4つの授業は、これまでの授業づくりで行ってきたことです。大切なことは、指導者がそれぞれの活動を思考力・判断力・表現力の育成と意識して授業を行っていくことです。活動のねらいを明確にして、数学的な考え方を高めていきましょう。

## 案浦先生の授業では、考えを解釈する姿を

11月14日に3年1組で公開授業を行います。今回も、部研として行っていきます。授業は全職員で参観していきます。授業整理会は、中学年部会のみで行います。講師として久山町教育委員会指導主事 安部章先生にご指導いただくことになっています。

今回の案浦先生の授業は、「図、式、言語での説明」がキーワードになります。

本時の授業は、空位のある(3位数)×(1位数)の筆算の方法を図や式、言語で説明していくものです。

子どもたちは、前時までの学習内容や方法を活用して、自分の考えをお金

図や式、言語で表現していきます。

407×7の筆算では、簡単に計算していこうとすれば、十の位の0×7の積である0を省略し、筆算には記入せずに計算していきます。しかし、筆算の意味理解が不十分な子どもたちは、この0を記入していく傾向があります。

本時の授業では、0を記入している考え、省略している考えをお金図と式で説明させていきます。また、考えを説明させた後、2つの考えに共通している点を考えさせていく発問を設定し、考えを解釈し、筆算の意味理解を深めようとしています。



近接学年の授業  
を見ていく観点を  
レベルアップして  
いきましょう。

## 低・高学年部会での授業づくりと参観の観点

11月14日の授業整理会時、低・高学年部会は、それぞれの部会で授業づくりを行っていきます。

### 【低学年部】

- 西田先生参観授業審議 (11 16)
- 柴田先生参観授業審議 (11 17)

### 【高学年部】 ※区家庭科研

- 豊原先生の指導案審議 (11 21)
- 安部先生参観授業審議 (11 18)

11月10日に3年1組で授業参観指導が行われました。言語活動は、説明文を要約する活動でした。この授業の評価規準は、「目的や必要に応じて、

文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを要約したり、引用したりしている。」となります。

4年生でも、今、説明文の学習を行っていて、要約したり、引用したりする言語活動を行っています。3年生の授業を参観しながら、「4年生の学習とどこが違うのだろうか。」「3年生でどこまで指導しておかなければならないのだろうか。」等、参観する側の授業の見方が高まってきています。

これまでの研修で学んだことを生かして、近接学年の授業を見ていく観点をレベルアップしていきましょう。

## 授業整理会は、次のように進めます。

司会 (植田) 記録 (川見)	於：会議室
1 講師紹介 (井上)	15：40
2 協議	15：40～16：10
3 指導助言 安部指導主事	16：10～16：40
4 謝辞・まとめ (井上)	16：40

※授業整理会参加者

中学年部 (案浦・植田・井上・川見・松原・高倉)

※公開授業写真 (井上)、研究通信 (川見)